

# かいのくに子ども観光大使2017 季節の花でフラワーアレンジメントをしよう

2017.12.10 (日)

南アルプス市健康福祉センター



## 季節の花でフラワーアレンジメントをしよう

### クリスマス用のフラワーアレンジメント

まず子ども観光大使たちは、講師の先生からフラワーアレンジメントのやり方を聞きました。オアシスにどのように枝や花をさしてあげばよいか、真剣な眼差しで聞いていました。

ついにフラワーアレンジメント開始。長さや色のバランスを見ながら、思い思いの配置で花を生けていきます。ときには保護者の方に手伝ってもらいながら、子ども観光大使たちは、自分なりのフラワーアレンジメントを楽しんでいました。

今回の子ども観光大使活動では、地元にある季節の花について学び、保護者と一緒にフラワーアレンジメント作りをしました。自分たちの住んでいる山梨県のことを新しく知って、もっと山梨のことを好きになる、そういった活動を行いました。20家庭子ども31名・大人21名、計52名の参加者にお集まりいただき、楽しく活動することができました。



### 保護者と一緒に考えた 季節の花の歴史と栽培の様子

今回、子ども観光大使たちは季節の花であるシクラメンが作られるようになった歴史と栽培の様子について学びました。フラワーアレンジメントを始める前に、子ども観光大使は、季節の花であるシクラメンが当初食用として栽培されていたことや明治時代に日本に理由されたこと、南アルプス市で他の地域では作られていない色のシクラメンが栽培されていることなどを学びました。

学んだあとは観光ハガキを作りました。フラワーアレンジメントをしている写真を入れたオリジナルハガキに学んだこと感想を入れました。



子ども観光大使は自分でできることを自ら行います。講師の先生に教えてもらいながら、花や枝をどんどん生けていきます。しかし、教えてもらうのと自分でやるのでは大きな違いが……。花や枝の配置に悪戦苦闘していると保護者の方が優しくフォロー。保護者の方が見守る中、安心して作業をすることができました。

完成に近づくにつれ、観光大使たちの顔が笑顔になっていきます。「これ、ここにおいたほうがいいよ」「もっと違う長さの方が合うよ」「ここに移動させよう」子ども観光大使と保護者の方との会話もとても楽しそうです。

子ども観光大使と保護者とと一緒に活動することで、地域のことを好きになるだけでなく、お互いの良さも改めて知り合うこともできます。

### 子ども観光大使とは

自分たちの住んでいる市町村の、今まで知らなかった良さに気づくことができる子ども、自分たちの住んでいる市町村のことがもっと好きになって、誇りを持てるようになる子ども、そして、知ったり学んだりした良さを発信していく子ども。それが子ども観光大使です。

山梨県だけでなく、静岡県や栃木県、山形県などでも、子ども観光大使が数多く生まれています。子どもが地元地域のことを好きになり誇りを持ってくれると、とても好評です。

### 子ども観光大使になるための3つの条件

- ①子ども観光大使の講座に3回以上参加すること
- ②観光ハガキ・観光俳句・観光動画のいずれかで、山梨の良さを発信すること
- ③「子ども観光大使検定」に合格すること

### 活動に取り組み観光大使



# かいのくに子ども観光大使2017 季節の花でフラワーアレンジメントをしよう

## 数多くの観光大使が誕生しました！



### 参加された方々の感想

- フラワーアレンジメント、すごく楽しかった。12月の花を使い、クリスマスっぽくなって、とてもかわいかった。
- お花が好きなので、参加しましたが、飾ることをとても楽しそうにしていたので良かったです。先生の説明もとてもわかりやすくきれいに飾ることができました。
- 子どもたちもフラワーアレンジメントをしたことがなかったので、優しく丁寧に教えてくださり、満足できたと思います。
- 同じ材料でも一人一人違うアレンジができることを実際に目で見て観察できたことも良かったです。
- 同じ花材で同じお皿で作っているのに、一人一人が違うものになるので、驚きました。お花を活ける楽しさを味わえたと思います。
- 生花に触れることがあまりないので、きれいなお花で楽しい時間がすごせました。子どもたちのセンスもみんなそれぞれでおもしろかったです。